



## 第 2 章 評 価

2016 年度に実施した「町田市民の保健医療意識調査」の結果や「まちだ健康づくり推進プラン（第4次町田市保健医療計画）」の評価から、今後、町田市が取り組むべき課題についてまとめました。



# 1 町田市民の保健医療意識調査 調査結果（概要）

## （1）調査の概要

### ① 調査の目的

「まちだ健康づくり推進プラン（第5次町田市保健医療計画）」の改定にあたり、町田市民の保健医療に関する意識や現状を把握することで、市民の皆さまのニーズに沿った保健・医療の提供を検討することを目的とし、調査を実施しました。

### ② 調査対象

町田市在住の成人・青少年・未就学児を無作為抽出

### ③ 調査期間

2016年12月6日から2016年12月27日

### ④ 調査方法

郵送による配布・回収

### ⑤ 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
成人	1,500 通	735 通	49.0%
青少年	1,000 通	579 通	57.9%
未就学児	1,000 通	611 通	61.1%

## ⑥ 調査結果

詳細につきましては、2017年4月発行の「町田市民の保健医療意識調査 調査結果報告書」をご覧ください。また、本計画書の99ページ以降に調査結果（抜粋）を掲載しています。

### 成人

普段のご自身の健康状態について、どう思いますか。	健康である	77.8%	健康ではない	21.8%
健康のため意識的に身体活動・運動を行っていますか。	はい	47.2%	いいえ	50.3%
ロコモティブシンドローム（※4）を知っていますか。	知っている	32.6%	知らない	62.7%
朝食をきちんと食べる。	いつも	77.0%	ほとんどない	10.1%
栄養バランスやエネルギーを考えて食事をする。	いつも	45.4%	ほとんどない	39.7%
日常生活で悩みやストレスがありますか。	ある	66.4%	ない	33.1%
身近に相談できる相手がありますか。	はい	68.3%	いいえ	11.0%
睡眠で休養が充分とれていますか。	とれている	67.3%	とれていない	29.8%
普段たばこを吸いますか。	吸っている	15.6%	吸っていない	82.7%
COPD（慢性閉塞性肺疾患）（※5）をしていますか。	知っている	38.5%	知らない	57.3%
アルコール飲料を飲みますか。	ほぼ毎日	18.2%	飲まない	42.6%
口腔ケアが十分に行われないと悪化させる病気について知っていますか。	歯周病	97.8%	糖尿病	25.4%
	誤嚥性肺炎（※6）	28.9%		
この1年間に、健康診断・検診を受けたことがありますか。	ある	78.1%	ない	20.0%
かかりつけ医師を決めていますか。	決めている	67.3%	決めていない	31.0%
かかりつけ歯科医師を決めていますか。	決めている	72.8%	決めていない	25.9%
かかりつけ薬局等を決めていますか。	決めている	46.3%	決めていない	47.2%
災害時の医療体制について知っていますか。	知っている	23.5%	知らない	71.8%
お薬手帳を持っていますか。	持っている	81.2%	持っていない	17.2%
地域猫活動を知っていますか。	知っている	24.0%	知らない	67.1%

※「どちらでもない」や無回答などがあるため、100%にはなっていません。

## 青少年

子育てが楽しいですか。	はい	75.0%	いいえ	1.4%
朝食をきちんと食べる。	いつも	88.4%	ほとんどない	2.8%
「お子さん」の口の中を観察することがある。	週1回以上	32.2%	ほとんどない	28.9%
休日・準夜急患子どもクリニックを利用することがありますか。	利用する	30.1%	利用しない	25.3%
「お子さん」が急病の場合、町田市内に安心して利用できる医療機関があると思いますか。	はい	32.8%	いいえ	14.7%
薬物問題に関心はありますか。	はい	67.7%	いいえ	31.3%

※「どちらでもない」や無回答などがあるため、100%にはなっていません。

## 未就学児

子育てが楽しいですか。	はい	85.3%	いいえ	0.0%
朝食をきちんと食べる	いつも	86.1%	ほとんどない	1.5%
「お子さん」の口の中を観察することがある。	週1回以上	77.6%	ほとんどない	8.5%
「お子さん」のいる部屋や車の中で、たばこを吸わないようにしていますか。	はい	87.6%	いいえ	11.4%
妊娠中にたばこを吸っていましたか。	吸っていた	1.3%	吸っていない	98.0%
妊娠中にアルコール飲料を飲んでいましたか。	飲んでいた	5.0%	飲んでいない	94.4%
休日・準夜急患子どもクリニックを利用することがありますか。	利用する	41.9%	利用しない	31.4%
「お子さん」が急病の場合、町田市内に安心して利用できる医療機関があると思いますか。	はい	34.9%	いいえ	16.2%
薬物問題に関心はありますか。	はい	55.5%	いいえ	43.9%

※「どちらでもない」や無回答などがあるため、100%になっておりません。

## 2 まちだ健康づくり推進プラン（第4次町田市保健医療計画）の達成状況

まちだ健康づくり推進プラン（第4次町田市保健医療計画）では、3つの基本目標（「1. 健康づくりの推進」、「2. 市民が安心して医療サービスを利用できる体制の強化」、「3. 健康危機に強い生活安全のまちの構築」）を達成するため、114項目の目標指標を設定し、各施策に取り組みました。

2016年12月に実施した“町田市民の保健医療意識調査”の結果や2016年度末の実績値から、“目標達成”が70項目、“改善”が28項目（合わせて86%）となりました。また、“未達成”が13項目となり、計画期間中に事業が終了したことにより“評価不能”になったものが3項目となりました。

### （1）評価区分と基準

まちだ健康づくり推進プラン（第4次町田市保健医療計画）で設定した目標指標について、策定時の初期値と、直近値を比較して、AからDに区分しました。

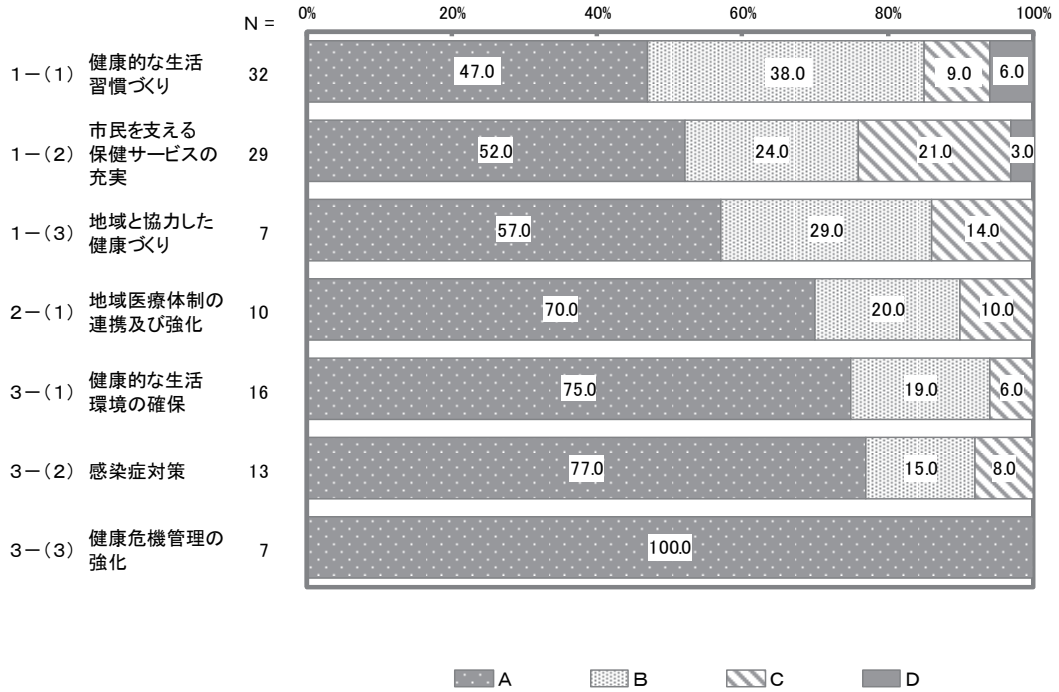
評価区分		基準
A	目標達成	目標を達成した
B	改善	改善がみられた
C	未達成	改善が認められない
D	評価不能	事業が廃止になった

### （2）達成状況

#### 1. 評価区分別

評価区分		目標指標	重点施策	その他
A	目標達成	70項目（61%）	25項目（74%）	45項目（56%）
B	改善	28項目（25%）	4項目（12%）	24項目（30%）
C	未達成	13項目（11%）	3項目（9%）	10項目（13%）
D	評価不能	3項目（3%）	2項目（6%）	1項目（1%）
計		114項目	34項目	80項目

## 2. 分野別集計



### 3. 目標指標別

#### 基本目標 1. 健康づくりの推進

##### (1) 健康的な生活習慣づくり

###### ① 栄養・食生活の改善

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
1	野菜の摂取量の増加	183g	350g以上	246g	B
2	朝食の欠食率(成人)	10.7%	8%以下	10.1%	B
3	BMI(※7)の範囲が標準の人の割合	74.3%	85%以上	66.9%	C
4	栄養成分表示を参考にしている人の割合	51.3%	60%以上	52.8%	B

- ・野菜摂取量は246gと増加していますが、目標値を達成することができませんでした。
- ・朝食欠食率の目標は達成できませんでした。改善傾向です。
- ・BMIが標準の人の割合は改善が見られませんでした。全体の標準の割合は6割以上でしたが、50代男性は標準の割合、肥満傾向の割合が共に44.7%であり、平均との差が見られました。また、40代男性の肥満傾向の割合も他の年代に比べて高く、40代、50代の男性へのアプローチが課題です。
- ・栄養成分表示を参考にしている人の割合は目標達成できませんでした。改善傾向です。

###### ② 運動習慣の定着化

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
5	意識的に身体活動・運動をしている人の割合	48.7%	54%	47%	C

- ・健康日本21(第1次)を参考に目標値を設定しましたが、目標を達成することができませんでした。ただし、高齢期の値は高く、成人期の値が低いため、今後は成人期を対象とした取り組みが必要です。



## ③ こころの病に関する正しい知識の周知と相談体制の強化

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
6	ストレスがある人の中でストレスを上手に解消している人の割合	30%	40%	41%	A

## ④ たばこ対策の推進【重点施策】

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
7	市が管理する建物内全面禁煙	25施設	71施設	184施設	A
8	民間を含めた多数の方が利用する施設の建物内全面禁煙	—	増やす	増加	A
9	普及啓発(禁煙・分煙ステッカーの配布)	—	増やす	増加	A
10	未就学児を持つ母親が、妊娠中に喫煙していた割合	19.4%	15%	1.3%	A
11	未就学児を持つ母親が、授乳中に喫煙していた割合	19.3%	15%	1.8%	A

- ・国及び都が東京オリンピック・パラリンピックに向け罰則規定を含め受動喫煙防止の強化を検討中です。
- ・目標値は達成しましたが、喫煙の影響については継続した普及啓発が必要です。

## ⑤ アルコール対策の推進

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
12	普及啓発(ホームページや健康情報誌を利用した情報提供)	—	増やす	1媒体	A
13	未就学児を持つ母親が、妊娠中に飲酒していた割合	13.8%	10%	5%	A
14	未就学児を持つ母親が、授乳中に飲酒していた割合	19.9%	15%	6.5%	A

⑥ 歯科保健に関する知識の普及促進

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
15	8020 運動 (※8) の認知度 (成人期)	46.5%	60%	50.3%	B
16	ゆっくりよく噛んで食べる人の割合	51.1% (6歳～12歳)	60% (6歳～12歳)	57.9%	B
		50.1% (未就学児)	60% (未就学児)	53.7%	
		17.1% (成人期)	20% (成人期)	19.6%	
17	フッ化物配合歯磨剤を使用している人の割合 (3歳)	43.1%	60%	83.5%	A
18	甘味菓子をほぼ毎日食べる人の割合 (3歳)	25.2%	20%以下	32%	C
19	甘味飲料をほぼ毎日飲む人の割合 (3歳)	26.6%	20%以下	19.6%	A
20	週1回以上子どもの口と歯を観察している保護者の割合 (未就学児)	76.4%	80%	77.6%	B
21	週1回以上フロスや歯間ブラシを使用している人の割合 (成人期)	48.5%	60%	54.1%	B
22	かかりつけ歯科医で定期健診や予防処置を受けている人の割合 (成人期)	68.2%	70%	72.8%	A
23	口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防することを知っている人の割合 (成人期)	24.2%	50%	37.6%	B
24	成人歯科健康教育の開催回数	1回 (2010年度実績)	5回以上	4回	B
25	広報掲載、連絡会等回数	ホームページ： 1回 (通年)	ホームページ： 1回 (通年)	1回	A
			連絡会等： 年3回以上	3回	

- ・8020 の認知度については、年代により 29%～74%とばらつきがありました。特に 20 代、30 代の認知度が低い傾向でした。
- ・フッ化物配合歯磨剤の使用者の増加や、甘味飲料常飲者の減少でう蝕罹患率は下がりました。
- ・未就学児の口腔内観察については、週1回以上観察している者に月1回以上も合わせると 87.9%になり、改善されました。
- ・誤嚥性肺炎の予防との関係の認知度については年代により 10%～53%とばらつきがありました。特に 20 代、30 代の認知度が低い傾向でした。

## ⑦ がん予防の取り組み【重点施策】

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
26	大腸がん検診受診率	7.8%	15.3%	14.2%	B
27	乳がん検診受診率	14.4%	16.3%	15.6%	B
28	子宮がん検診受診率	17.5%	21%	17.8%	B
29	胃がん検診受診率	2.2%	5.9%	17.2% (胃がんリスク 検診累計受診率)	D
30	肺がん検診受診率	1.1%	7.3%	2013年度で 事業終了	D
31	要精密検査受診率(平均)	57.3%	許容値 (70~ 80%)以上	83.1%	A
32	自分の健康状態をよいと 感じる人の割合	54.2%	65%	77.8%	A

- ・大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診の受診率が増加しましたが、乳がん検診・子宮がん検診は東京都の平均よりも低い状況です。
- ・胃がん検診及び肺がん検診は2013年度で事業を終了しました。2014年度からは、胃がんリスク検診(※9)を本格的に導入し、一人一回限りの検診として実施しています。2016年度末までに合計約49,000人の方が受診しており、胃がんの原因の一つと言われているヘリコバクター・ピロリ菌の除菌治療に繋がっています。また、肺がんの予防対策として、防煙教育などを含め、たばこによる健康被害の影響について周知を図っています。

## (2) 市民を支える保健サービスの充実

### ① 子育てに関する情報提供と相談機能の充実

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
33	「こんにちは赤ちゃん事業(※10)」を受けて育児不安が軽減したと思う人の割合	こんにちは 赤ちゃん訪問 73%	こんにちは 赤ちゃん訪問 100%	88%	B
		新生児訪問 —	新生児訪問 100%	97%	
34	こんにちは赤ちゃん訪問の訪問率 (対出生)	67.2%	100%	91.3%	B
35	発達面に関する個別相談受け入れ 件数	585件	1,328件	925件	B

- ・「こんにちは赤ちゃん事業」を受けて育児不安が軽減したと思う人の割合は増加しており、子育てに関する相談機能として役割を果たしました。

### ② 乳幼児期から生涯にわたる食育(※11)の推進

#### 【重点施策(町田市新5ヵ年計画)】

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
36	食育推進協議会の設置	—	設置済み	設置済み	A
37	食育推進計画策定	—	策定済み	策定済み	A

- ・町田市食育推進計画は2013年度に策定しました。

### ③ アレルギー疾患対策及び大気汚染等による健康障がいへの対応

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
38	子どもの受動喫煙防止を心がけている人の割合	63.3%	100%	87.6%	B
39	アレルギー物質を含む食品検査品 目数	7,000件 (見込み)	7,000件	事業廃止	D

- ・子どもの受動喫煙防止を心がけている人の割合について、目標には届きませんでしたが改善されました。
- ・アレルギー物質を含む食品検査品目数については、食品表示法の制定に基づきアレルギー物質の表示が強化されたことにより、検査の必要性が低下したため事業を廃止しました。

## ④ 生活習慣病への対策

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
40	健康増進健康診査の受診者数	4,500人	6,000人	4,116人	C
41	特定健康診査の受診率	51%	65%	46.9%	C
42	後期高齢者健康診査の受診率	55%	65%	54.2%	C
43	特定保健指導への参加率	25%	45%	12.1%	C
44	地域での健康教育の実施（生活習慣病予防）	5回	10回	10回	A

- 健康診査の受診率は高年齢層に比べ若年齢層の受診率が低い傾向にあります。

## ⑤ 歯と口の健康づくりの推進

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
45	う蝕のない人の割合（3歳）	83% (2010年度 実績)	85%	87.2%	A
46	1人平均う歯数（12歳）	1.27本 (2010年度 実績)	1.0本	0.75本	A
47	進行した歯周病にかかっている人の割合（CPIコード（※12）[1]3以上の人）（40歳：35～44歳）	32.1% (2010年度 実績)	30%以下	55.3%	C
48	24歯以上を有する人の割合（60歳：55～64歳）	79.4% (2010年度 実績)	増やす	83.9%	A

- 進行した歯周病にかかっている人の割合は、母数になる数が少なかったこともあり、目標を達成できませんでした。

## ⑥ 難病等の対策

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
49	支援計画策定・評価会議を活用したネットワークの推進	月1回	月1回、 事例検討数の 増加	1回/3か月 (事例検討会 2回/年)	B
50	市内協力病院の登録及び神経難病受け入れ医療機関の数	0か所	1か所	4か所	A
51	患者家族会の育成支援	0か所	2か所	1か所	B
52	患者家族会の交流会支援	1か所	3か所	1か所	B

⑦ ひきこもり（※13）対策【重点施策（町田市新5ヵ年計画）】

		2011年度 （初期値）	2016年度 （目標値）	結果	評価 区分
53	ひきこもりに関する相談件数（関係機関延べ数）の増加	73件	100件	279件	A
54	ひきこもりグループワーク参加者数（実数）の増加（見学者を含む）	16人	25人	26人	A

⑧ 精神障がい者の適正な医療継続と安定的な地域生活への定着

		2011年度 （初期値）	2016年度 （目標値）	結果	評価 区分
55	関係機関との連携による専門相談実績の増加	3,096件 （2010年度 実績）	3,200件	3,680件	A

⑨ 自殺防止の推進【重点施策（町田市新5ヵ年計画）】

		2011年度 （初期値）	2016年度 （目標値）	結果	評価 区分
56	（仮称）町田市自殺防止協議会の設置	—	設置・運営	設置済み	A
57	ゲートキーパー（※14）養成数	100人	累計600人	3,699人	A
58	普及啓発の実施件数（リーフレットやホームページ、広報等を利用した情報提供）	—	増やす	増加	A
59	自殺防止に関する対策基本方針策定	—	策定・実施	策定済み	A
60	自殺死亡率の減少	19%	17.4%	16.2%（2015年）	A
61	身近な相談者がいる人の割合	72%	80%	68.3%	C

- 2016年度の普及啓発では、「悩み」の相談先一覧（8,500部）、ゲートキーパー手帳（2,000部）の配布及び町田市ホームページの掲載を行いました。また、「いのち」支える！町田キャンペーンを2回実施しました。
- 自殺防止に関する対策基本方針を2013年度に策定しました。

### (3) 地域と協力した健康づくり

#### ① 市民、関係団体、行政、企業、学校等が連携した健康づくり

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
62	総合健康づくりフェア	実施 (年1回)	継続実施 (年1回)	継続実施	A
63	季刊誌「いきいき健康だより」の発行	発行 (年4回)	継続発行 (年4回)	2012年度、 2013年度 (年4回発行) 2014年度、 2015年度 (年3回発行) みんなの健康ハンドブック作成及び 改定 2016年度 (年4回発行)	A
64	市民、市民団体、企業、学校と連携した事業の実施	9回	14回	13回	B

- 総合健康づくりフェア来場者数を増やすことができました。2014年1,021人、2015年1,936人、2016年3,020人（2016年アンケート・大変満足、やや満足99%）
- みんなの健康ハンドブックは、健康づくりフェアをはじめ、各イベント等で配布しました。

#### ② 健康づくり推進員（※15）活動の活性化【重点施策】

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
65	町内会・自治会の推薦母体の割合	52.2%	60%以上	48.2%	C
66	健康づくり推進員の地区での活動実績	68回	79回	95回	A

- 推薦母体の拡大に至らなかった要因の一つとして、健康づくり推進員の活動内容が、高齢者福祉施策の活動と重複が多いことが挙げられます。主体的に活動できる人材を生かし保健所の抱える課題解決の計画を地域とともに考え、展開できるパートナーシップの構築が必要です。

### ③ 子育て支援に関する機関との連携強化

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
67	健診や訪問事業からの紹介により、公立及び法人立保育園が実施している「ひろば事業」に参加した件数	11件	増やす	増加	A
68	地域子育てセンターと連携し実施した同行訪問・健診の回数	同行訪問： 0件 健診：48回 (2010年度 実績)	同行訪問 10件	同行（連携）訪問： 1件 健診：60回 (2016年度)	B

- 「ひろば事業」の周知が進んでおり、健診や訪問事業からの紹介数は増加しました。
- 子育て支援に関する機関との連携は同行訪問以外の連携会議や事業連携等により強化しました。



## 基本目標 2. 市民が安心して医療サービスを利用できる体制の強化

### (1) 地域医療体制の連携及び強化

#### ① 身近な地域における医療の確保・連携

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
69	成人でのかかりつけ医を決めている人の割合	61.9%	70%	67%	B
70	未就学児でのかかりつけ医を決めている人の割合	91.4%	93%	96%	A

- ・20代から40代でかかりつけ医を決めている割合が56%と他の年代に比べて低い値でした。

#### ② 365日24時間の安心な医療の確保

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
71	一次・二次・三次医療機関の役割分担を知っている人の割合	36.7%	50%	39%	B
72	救急の場合、町田市内に安心して利用できる医療機関があると感じる人の割合	16.8%	30%	32%	A
73	町田市民病院での救急患者受け入れ数	1,513人 /月 (2010年度 実績)	1,700人 /月 (2013年度 達成目標)	1,314人	C

- ・一次、二次、三次医療機関の役割分担の認識度については、設問の表現が難しかった可能性があることから、目標値には届きませんでした。

### ③ 在宅療養の推進

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
74	認知症高齢者を対象とした在宅療養相談調整会議の開催	—	日常生活圏域 1圏域当たり 年4回開催	年6回(平均)	A
75	在宅療養支援診療所の数	25カ所	増やす	29カ所	A

- ・医療機関等の尽力により、在宅療養診療所の数が増加しました。

### ④ 良質で安全、安心な医療の確保に関する取り組み【重点施策】

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
76	医療安全支援センターの設置	—	設置済み	設置済み	A

- ・医療安全支援センターは、2015年8月に設置し、相談窓口、協議会、講演会・研修会を実施しています。

### ⑤ 保健医療を支える人材の育成

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
77	保健医療関係機関に対する人材育成研修	—	実施	実施済み	A
78	町田市における専門職の人材育成計画策定	—	策定	策定済み	A

- ・医療安全支援センターの事業の一環として、医療従事者向けの研修を実施しました。
- ・町田市保健師人材育成ガイドラインを作成しました。

### 基本目標3. 健康危機（※16）に強い生活安全のまちの構築

#### （1）健康的な生活環境の確保

##### ① 食の安全の確保

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
79	市民に対する普及紙の発行部数	8,000部	12,000部	9,000部	B
80	食品衛生実務講習会受講者数	2,100名	2,500名	2,225名	B

- ・普及紙について、初期値よりは発行部数が増加したが目標値には届かなかった。
- ・実務講習会は、開催回数・通知数を増やしてはいるものの、出席率の低さにより目標を達成できなかった。

##### ② くすりの安全の確保

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
81	薬局・販売店の監視指導の実施率	100%	100%	100%	A
82	毒物劇物取扱業者の監視指導の実施率	20%	30%	86.9%	A

- ・2011年度から2013年度の3か年にわたり、毒物劇物を所有する小中学校に計画的に調査を行ったため、毒物劇物取扱業者の監視指導実施率が予定より大幅に上回りました。

##### ③ 薬物乱用のない環境づくり

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
83	薬物乱用防止教室（※17）の実施回数	10回	20回	34回	A
84	薬物乱用防止教室関連資料の貸し出し回数	5回	10回	28回	A

- ・学校薬剤師（町田市薬剤師会）が中心に実施して頂いた結果、目標を達成しました。

#### ④ 動物との共生の推進【重点施策】

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
85	飼い主のいない猫との共生モデル 地区（※18）	13地区	20地区	23地区	A
86	狂犬病予防注射の実施率	77.52% (2010年度 実績)	80%	80.1%	A
87	犬猫譲渡会 譲渡成立数	30匹 (2010年度 実績)	50匹	98匹	A
88	動物愛護共生センターの設置	—	計画の策定	未策定	C
89	動物の収容件数(適正な管理の実現)	128件	50件	66件	B
90	動物に関する相談件数	未集計	減らす	2012年度500件 2013年度532件 2014年度538件 2015年度504件 2016年度469件	A

- ・動物愛護ボランティア団体が主催する譲渡会に、会場の提供や市HPへの掲載といった協力を行いました。動物愛護ボランティア団体の方々の活動により、「犬猫譲渡会 譲渡成立数」が目標を上回りました。

#### ⑤ 環境衛生の確保

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
91	生活衛生営業施設(※19)における措置基準等不適施設数	23施設	13施設	3施設	A
92	プール水、浴槽水等のレジオネラ属菌検出率	16%	10%	9%	A
93	プール運営施設の維持管理状況報告率	47%	75%	100%	A
94	特定建築物(※20)の飲料水維持管理状況の報告率	92%	96%	96%	A

## (2) 感染症対策

## ① 感染症対策の基本的な方向性

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
95	ホームページ更新回数	38回	50回	53回	A
96	研修会開催回数	5回	10回	11回	A
97	市内施設の感染症対策委員会開催	未把握	50%	40% (特別養護老人 ホームのみ)	B
98	感染症発生時における積極的疫学 調査の実施	100%	100%	100%	A
99	福祉施設調査	—	10施設	79施設 (保育園のみ)	A

## ② 予防接種による感染症の予防

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
100	予防接種をしていない人の割合	3%	1%	3.9%	C
101	ポリオワクチン接種率	95%	98%	98.3% (4種混合)	A
102	B C G ワクチン接種率	94%	98%	101%	A

- ・制度変更等があり、当初設定した目標値との単純比較は困難です。

③ 結核対策の推進

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
103	結核治療失敗・脱落率	9.5%	5%以下	0%	A
104	患者のうち、症状が出てから診断されるまでに3ヶ月以上かかった人の割合	31%	25%	23.5%	A

④ HIVと性感染症対策の推進

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
105	検査実施回数	12回	16回	15回	B
106	受診者数	60人	200人	302人	A
107	相談者数	50人	150人	647人	A

### (3) 健康危機管理の強化

#### ① 健康危機管理体制の整備【重点施策（町田市新5ヵ年計画）】

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
108	健康危機管理協議会の運営	発足準備	設置・運営	設置済み 年2回開催	A
109	健康危機管理計画の策定	部内ワーキングチーム で検討中	(2013年度) 策定済み	策定済み	A
110	健康危機管理訓練と研修の実施	実施	実施	実施	A

#### ② 新型インフルエンザ（※21）対策の推進

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
111	健康危機管理訓練の実施	2回	2回	実施	A
112	町田市新型インフルエンザの基本的 対策方針の改定	必要に応じ、随時改定を 行う。		随時改定	A

#### ③ 災害時保健医療対策

		2011年度 (初期値)	2016年度 (目標値)	結果	評価 区分
113	市防災訓練での応急救護訓練の充実	計画の見直し	充実する	充実	A
114	災害用医療備蓄品（薬品等）の充実	計画の見直し	充実する	充実	A

- 総合防災訓練で医療救護活動訓練を実施しました。また、南多摩保健医療圏の訓練にも参加しました。トリアージシート等を購入し、いくつかの災害拠点連携病院に配備しました。

### 3 評価のまとめ

#### (1) 町田市民の保健医療意識調査のまとめ

- 健康のため意識的に身体活動・運動を行っている人は、全体としては47.2%ですが、20～50代の男性は32.9%、女性は35.4%となっています。
- たばこを吸わない人の割合は、全体としては82.7%ですが、30～40代の男性は64.9%となっています。
- ロコモティブシンドロームの認知度は32.6%、COPD（慢性閉塞性疾患）の認知度は38.5%となっています。
- この1年間に、健康診断・検診を受けたことがある人の割合は、全体としては78.1%ですが、20～40代の女性は66.3%となっています。
- 口腔内のケアが十分に行われないと悪化させる病気について知っている割合は、歯周病は97.8%ですが、誤嚥性肺炎は28.9%、糖尿病は25.4%となっています。
- 災害時の医療体制について知っている人の割合は23.5%となっています。
- 地域猫活動に参加・協力したことがある人の割合は1.2%で、知っている人の割合は22.8%となっています。

「町田市民の保健医療意識調査」の結果から、上記の項目についての割合が低く、課題となっています。

これらの項目に取り組み、改善を図っていく必要があります。

#### (2) まちだ健康づくり推進プラン（第4次町田市保健医療計画）の達成状況のまとめ

- C評価（未達成）が13項目でしたが、そのうち市民の健康意識に関する項目が8項目となりました。
- 分類別でみると「健康的な生活習慣づくり」のA評価（目標達成）が47%となっており、他に比べて低い割合となりました。特に、生活習慣病への対策については、5項目中4項目がC評価（改善が認められない）となりました。

「まちだ健康づくり推進プラン（第4次町田市保健医療計画）の達成状況」から、“健康意識の向上”と“生活習慣の改善”が課題となっているため、これらの取り組みを強化する必要があります。